

【正しい漢字で書く】

1. ひらがなあるいはカタカナで書く

論文（答案）内で書く単語の漢字が出てこないときにはひらがなあるいはカタカナでその単語を書きます。会社員のとき、技術士二次試験の試験官をしていた方が社内にいました。解答を書いているときその中で書く単語の漢字が出てこなかったときの対応についてその方に質問しました。「漢字が出てこないときにはひらがなあるいはカタカナで書きなさい」という回答でした。「誤字のある論文は読んだときの印象が悪い。ひらがなあるいはカタカナは誤字ではない」という理由でした。

ひらがなあるいはカタカナで漢字を書くとき**稚拙な論文（答案）**に思われるかもしれません。しかし、ひらがなやカタカナは誤字ではありません。誤字のある論文（答案）が減点になるかどうかわかりません。しかし、**誤字を書くとき論文（答案）の印象が悪くなるように**思います。

しかし、「漢字が出てこないときにはひらがなあるいはカタカナで書く」という書き方も**程度問題**です。ひらがなあるいはカタカナで書いてある単語が複数ある論文（答案）も印象が悪いです。このような論文（答案）を読むと「この受験生は漢字も書けないのか」と思います。

2. 技術士には文書を書く能力も求められている

技術士に求められる資質能力（コンピテンシー）の中に「コミュニケーション」があります。ここでのコミュニケーションとは以下の内容です。

- ・業務履行上、口頭や文書等の方法を通じて、雇用者、上司や同僚、クライアントやユーザー等様々な関係者との間で、明確かつ効果的な意思疎通を行うこと

この内容から、**技術士には文書を書く能力も**求められていることがわかります。当然、**文書を書く能力には漢字を書く能力も**含まれています。

書こうとしている単語の漢字が出てこないのは試験での非常事態の一つです。この場合には、この単語をひらがなあるいはカタカナで書く対応も致し方ありません。しかし、**技術士二次試験は技術士になるための試験**です。試験では、ひらがなあるいはカタカナではなく**正しい漢字で論文（答案）を書くべき**です。

以 上